

令和6年度日本大学大学院法務研究科入学試験

第3期〔未修者〕・小論文

出題の趣旨・採点基準

第3期

【設問1】（配点50点）

【出題の趣旨】

法科大学院における教育では、多くの文献や判例を読むことが必須であり、また、その内容を他者にわかりやすく簡潔に説明することも必要であるから、法学未修者も、文献や判例を読み解くための基礎的な文章読解力と、これを他者に向けて説明、表現する力が求められる。

設問1は、AIの社会実装による生活時間の変化がソーシャル・キャピタルに与える影響について本文の要旨を600字以内でまとめるというものである。

受験生は、問題文を呼んで、その内容を読み取って、わかりやすく簡潔に文章にまとめる必要があり、これを一定の時間内で行う力が試される。

【採点基準】

1. 字数

字数制限（600字）を超えている場合には、1行（20字）につき1点を減点し、制限文字数－2行（560字）に達しない場合は、1行（20字）につき1点を減点する。〔減点上限10点〕

2. 表現力（5点）

語彙力を含めた文章表現力に特に秀でている場合は、5点の範囲で加点する。

3. 内容点（合計45点）

AIの社会実装による生活時間の変化がソーシャル・キャピタルに与える影響について、ソーシャル・キャピタルの形成には他の人と共に過ごす時間の長さが影響していることを意識しながら、次の指摘等をあげて、簡潔かつ的確にまとめているかを評価する。

- （1）労働時間が短縮しても、家族や他者との生活時間増加への寄与は少ない。
- （2）労働時間の短縮が人々の孤独感の解消に直接つながるとは限らず、一人で過ごす時間の変化は少ないこと。
- （3）学校や職場で過ごす時間が減少し、これらの場所での人々とのつながりが弱まり、そこで得られていた自己肯定感や自尊心などが減少すること。
- （4）人付き合いの好きな人、そうでない人とで、他人と過ごす時間の量が変わり、各人の持つ社交性の能力がそのまま反映されること。
- （5）パートタイム労働が増え、正規労働者と非正規・パートタイム労働者間の格差を拡大する可能性があること。

【設問2】（配点100点）

【出題の趣旨】

法科大学院は、法律実務家になるための学習をするところであるから、現在の社会に生じている問題を認識し、文献を読むこと等からその原因に関する考察をし、問題を解決、解消する方法を自ら考えることが求められる。そして、自らの考えを他人に理解してもらえるように、明確かつ簡潔に説明し、文章にする力が求められる。

設問2は、AI を社会実装することによる労働時間の減少は、人々の幸福につながると言えるか、AI を導入することのポジティブな側面とネガティブな側面の双方を考慮しながら自身の見解を800字以内で述べるというものである。受験生は、AI 技術の社会への実装に伴う複数の側面があることを理解し、それらを整理し分析して、自らの見解を述べる必要がある。独創的な見解を述べても良い。自己の考えをまとめることによって、受験生の思考力、構想力が問われ、また、これを文章に構成して表現する力が試される。

【採点基準】

1. 字数

字数制限（800字）を超えている場合には、1行（20字）につき1点を減点し、制限文字数—2行（760字）に達しない場合は、1行（20字）につき1点を減点する。[減点上限10点]

2. 表現力（5点）

語彙力を含めた文章表現力に特に秀でている場合は5点の範囲で加点する。

3. 独創力（5点）

構成や内容に独創性に特に秀でている場合は、5点の範囲で加点する。

4. 内容点（合計90点）

本文に述べられているポジティブな側面とネガティブな側面を考慮しながら、受験生の見解を述べることになる。以下のような項目を取り上げることが必要だろう。

(1) ポジティブな側面としては、①労働時間の減少により余暇が増加し、家族や趣味に費やす時間が増えること、②余暇の増加により精神的健康が向上し、ワークライフバランスが改善する可能性があること、③単純作業の自動化により、より意義深い独創的な仕事に注力できること等があげられる。（30点）

(2) ネガティブな側面としては、①社会的つながりが低下し、労働時間の減少が孤立感や社会的疎外をもたらすリスクがあること、②AI に代替されることで職種の消失やスキルの陳腐化による経済的格差の拡大すること。③所得面での格差をもたらすこと等があげられる。（30点）

(3) 最後に、自身の見解については、記述内容に制限はないが、直接的な幸福への影響は限定的であって労働時間の減少が必ずしも幸福に直結しないことや、AI の利点を活用して人々の幸福に資するためには、社会的サポートや教育などの社会システムの変革が必要と

なること、技術進歩とともに人々の福祉を重視したアプローチが重要であることなど、様々なことをあげて見解を述べれば良い。それぞれの論述を見て、評価する。(30点)

以上